

広報せとうち 6

令和2年
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！

6月の特集

フェリーかけろま・町営定期船せとなみ 特集



Pick up—注目記事—

パッションフルーツ収穫開始！ 02

もくじ—information—

- 教育コラム「めばえ」 03
- 6月のお知らせ 06
- まちのできごと 22
- 古高だより 24
- 今月の独り言「ミミズかと思ったら…」 26

まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和2年4月末

人口 合計	人口 男	人口 女	世帯数 合計
8,865 人 (前月比: + 42)	4,342 人 (前月比: + 24)	4,523 人 (前月比: + 18)	5,281 世帯 (前月比: + 47)

パッションフルーツ収穫開始!

南国の果実「パッションフルーツ」を全国へ

■瀬戸内パッションの定義

- ①瀬戸内町の自然環境で栽培された「パッションフルーツ」であること
- ②生産者は「瀬戸内パッションブランド産地協議会」に加入していること
- ③大島地域施設パッションフルーツ栽培基準に準じて栽培していること
- ④エコファーマー認定、かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）認証を取得していること
- ⑤瀬戸内町皇室献上パッションフルーツ産地認定を受けていること
- ⑥瀬戸内パッション出荷基準・出荷規格に基づき出荷・販売を行うこと



瀬戸内パッションブランド産地協議会は、パッションフルーツの知名度向上と販路拡大を目的として設立され、平成31年4月にかごしまブランド団体に認定されました。瀬戸内町で栽培されたパッションフルーツは、南国の太陽の恵みと生産者の情熱をたっぷり受け、樹上で完熟した逸品で「瀬戸内パッション」として商標登録されています。また、平成8年から宮内庁へ継続して献上され、平成18年に「皇室献上産地」の名称使用を許されています。皇室献上産地の誇りは、生産者の意欲向上にもつながり、かごしま農林水産物認証制度（K-GAP）及びエコファーマー認定のほか、独自に厳しい出荷規格を設けて、安心・安全で美味しいパッションフルーツ生産につながっています。今後も日本一の生産量を誇る鹿児島県において、各産地と切磋琢磨して生産技術を高め合うだけでなく、各産地で協調して「かごしまのパッションフルーツ」を全国へ広める計画であります。

※今、日本中が新型コロナウイルスの影響で大変な状況ではありますが、6月より全国へ向け旬のパッションフルーツを元気に出荷していきます!



今、パッションフルーツが注目されているわけ

動脈硬化など生活習慣病予防、皮膚や粘膜正常化にいいといわれるβカロテンが豊富で、アンチエイジング（抗加齢）作用があるとされる成分も含まれ、健康食材として関心が高まっています。

きれいな水と空気、さわやかな海風のなか、サンサンと降り注ぐ陽光を浴びて育つ「瀬戸内パッション」は、甘み・酸味・香りが際立ち、「南国の宝石」ともいえる芳醇な味わいがあります。



瀬戸内パッションブランド産地協議会の会長を務める宮原伸清さん



シンプルで上品なデザインの梱包にもこだわっている

●パッションフルーツの成分

パッションフルーツは果物の中でもβカロテンの含有量が多く含まれています。βカロテンは体内でビタミンAに変換され、動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病の予防や皮膚、粘膜を正常にする働きがあります。また、葉酸は人のDNAの合成に大切な働きをします。

とくに妊娠中の女性は普通の1.7倍必要と言われています。さらに、種子に含まれるピセアタンノールには抗加齢（アンチエイジング）作用やメラニン合成抑制作用があることが知られています。



焼酎に入れても美味しくいただける「焼酎のパッションフルーツ割」



平成31年度4月にかごしまブランドに認定された「瀬戸内パッション」



サーテンテン♪



6月 247号

今月の担当者

諸鈍保育所より

サーテンテン♪

めばえ

『シバヤ・ブームの諸鈍保育所』

「名前は何ていうの?」「どこから来たの?」「どんな遊びが好きなの?」「シバヤって知ってる?」

次男(当時4歳)を連れて、最初に諸鈍保育所へ挨拶に行ったとき、在園児たちが詰め寄って次男や私に沢山の質問を投げかけてくれたのを覚えています。

コバルトブルーに輝く美しい海に囲まれた鹿児島県の奄美群島、加計呂麻島に、東京から引っ越して三年目になります。冒頭は、好奇心旺盛な諸鈍保育所の子ども達が初対面の私達に発した言葉です。とても驚きました。なぜなら、東京にいる間は、幼児は顔見知りではない大人や子どもには警戒して近づいたり話しかけたりはしないものだと思っていたからです。キラキラと輝く瞳で傍に寄って来てくれた園児達の様子から、今後の次男の保育所生活は愉快で充実したものになるだろうと思わせてくれました。

そして、この予見は現実のものとなりました。諸鈍保育所の子ども達は、特色ある地域文化の醍醐味を存分に味わうことができるのです。

諸鈍の大屯神社では旧暦九月九日、国の重要無形民俗文化財「諸鈍シバヤ」が披露されます。この時期に近付くと、保育所では「シバヤ・ブーム」が巻き起こり、男子園児を中心に、毎日のように「シバヤ」を真似て演技します。

ひとつひとつ表情の違うガビディラ(紙面)、の紙の陣笠、黒い上衣、花飾りに太鼓などの特徴的な衣装も、園長や先生方が作って下さり、園児達は喜んで身に付けています。まだ二歳になったばかりの在園児が堂々と演技する様子は、脈々と受け継がれる島の伝統、歴史文化の1ページを見ているかのようです。

諸鈍には製糖工場があり、晩冬から初夏まで園児たちは散歩で工場に出かけ、おやつに、粗熱の冷めない黒糖を味わうことができます。年長になる次男は、製糖の工程を見学させて頂きました。幾重にも重なるサトウキビの束が搾られジュースになり、それが釜で炊かれ、石灰を入れることで固まっていきます。サイコロ状に切られていく熱い黒糖の塊を、次男はじっと見つめていました。

豊かな自然環境も諸鈍保育所の魅力です。園児達は、眼前に広がる諸鈍湾で貝拾いしたり、初夏に咲く緋色のデイゴの花を数え、「キュルルル」と鳴くアカショウビンの歌声を楽しむことができます。都会に住んでいては多く与えてあげることの出来ない、自然を通じて感性を育む体験が「日常的」にできるのです。これは、最高に贅沢な事だと考えます。

『幼児教育ハンドブック(お茶の水女子大学子ども発達教育センター編 2004年発行)』によれば、「子ども達は文化や行事に触れることでその意味を知り、自分の国(地域)への関心を深め、その国(地域)の一員として自分を認めるようになる」とあります。

季節行事や文化芸能、豊かな自然環境のある諸鈍集落に、私達家族を参加させて下さった集落の皆さま、瀬戸内町の皆さま、保育所先生方に感謝申し上げます。ありがとうございます。

ルリ色の美しい羽を持つルリカケスには、まだお目にかかった事はありません。次男と手を繋いで登園できるのは、あと残り200日ぐらい。朝霧の漂う林のなかに、その姿を目にすることができれば、...。淡い期待を抱きながら通園しています。

諸鈍保育所 在園児保護者 西村美和子



来月の担当は**附属幼稚園**です。教育委員会社会教育課生涯学習係
岩永由希子 ☎0997-72-2905

フェリーかけろま 主要要目

全長	37.60 m
総トン数	197 t
旅客定員	140 名

フェリーかけろま

町営定期船せとなみ

船長インタビュー



町営定期船せとなみ 主要要目

全長	32.80 m
総トン数	87 t
旅客定員	60 名

瀬戸内町と加計呂麻島の間を流れる大島海峡。この海峡を日々往来し、本島側と加計呂麻島の懸け橋となっているのが、瀬戸内町のシンボルでもある「フェリーかけろま」と「町営定期船せとなみ」である。

今回は、この私たちの生活を支えている町営定期船2隻の船長に話を聞いてきました。

「日々、安全第一を心掛けて」

フェリーかけろま 船長 川井 ^{かずし} 一志

—日々、航行するうえで気を付けていることは何ですか？

川井船長：日々、安全第一を心掛けて、運航しています。

—フェリーかけろまの利用者に、乗船時に気を付けていただきたいことはありますか？

川井船長：フェリーかけろま乗船時には、足もとに気を付けて乗船していただけたらと思います。

—フェリーかけろま欠航時の条件を教えてください。

川井船長：風速 10m/s 以上。波高 1.5m 以上。視界 400m 以下が欠航基準となっています。この基準をもとに、船長・安全統括管理者・運航管理者と話し合い欠航の判断をしています。

—加計呂麻島、請島、与路島のおすすめスポットはありますか？

川井船長：1月～3月ごろには、大島海峡にもクジラがまれに入ってくるので運が良ければ会えるかもしれません。

—船長としてどんなことを大切にしていますか？

川井船長：体調が悪いと、操船ミスや判断ミスを起こすことがあるので体調管理は大切にしています。船員とのコミュニケーションも大切にしています。

—最後に船長の想いを教えてください。

川井船長：現在、若い（20代）船員が2名と少ないのでこれから若い船員が増えて、経験を積み、海技免許をとって将来の船長、機関長になってほしいです。



- ①操舵室
- ②旅客定員は 140 名
- ③壮観な操舵室からの眺め
- ④車両スペース
- ⑤バリアフリー対応のエレベーター
- ⑥男女トイレに加えバリアフリートイレも完備
- ⑦バリアフリー客席（6 席）
- ⑧車イススペース

せとなみの歴史



■瀬戸内町営定期船運航
情報を下記 twitter アカウ
ントにて配信しています



「運がよければクジラも見れますよ」
町営定期船せとなみ 船長 藤村 啓隆^{ひろ たか}

一日々、航行するうえで気を付けていることは何ですか？

藤村船長：乗客が安心して乗船できるよう、安全を第一に安全航海を心掛けています。運航基準を遵守することを心掛けています。

—せとなみの利用者に、乗船時に気を付けていただきたいことはありますか？

藤村船長：出航時刻に間に合うよう時間に余裕をもって乗り間違いのないように気を付けていただきたいです。

—せとなみ欠航時の条件を教えてください。

藤村船長：風速 10m/s 以上。波高 1.5m 以上。視程 500m 以下が欠航の条件です。気象・海象情報を収集し判断をしています。

—加計呂麻島、請島、与路島のおすすめスポットはありますか？

藤村船長：ライオンやひよこの形に似た岩や瀬があるので、乗船時にはぜひ探してみてください。また、冬の時期には運が良ければクジラなども見れますよ。

—船長としてどんなことを大切にしていますか？

藤村船長：運航基準を遵守し安全航海を心掛けています。

—貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

フェリーかけろまの船内

